

令和4年第12回大仙市教育委員会定例会議事録

令和4年第12回大仙市教育委員会定例会を令和4年12月23日(金)午後3時30分から大曲庁舎3階大会議室において開催した。

出席者

教育長	伊藤雅己
委員	小笠原晃
	工藤浩一
	中島康
	伊藤勝良

説明員	事務局長	築地高
	次長兼教育総務課長	田口広龍
	次長兼教育指導課長	大阪瑞穂
	施設管理課主幹	小松和範
	次長兼学校給食総合センター所長	佐藤正道
	生涯学習課長	八嶋洋晃
	総合図書館長	伊藤ひろみ
	総合市民会館長	品川雄喜
	参事兼教育研究所長	小松文彦
	神岡中央公民館長	齊藤浩志
	大綱交流館長	齊藤良子
	中仙公民館長	高橋千秋
	協和公民館長	阿部成吾
	南外公民館長	佐藤マキ
	仙北公民館長	竹村智子
	太田公民館長	草薨晶子
書記	教育総務課参事	佐藤到

付議案件

- (1) 議案第39号 大仙市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について(教育指導課)

伊藤教育長

皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、高見委員から欠席の御連絡が入っております。定足数は満たしておりますので、会議は成立いたします。

ただいまから、令和4年第12回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

書記に、佐藤参事を指名します。

前回までの定例会議事録は、ただいま御出席の委員の皆様から、署名をもって承認していただきました。

先週後半から積雪により、一気に冬本番を迎えた感があります。北陸地方の大雪などのニュースを見ると人ごととは思えませんし、まだまだ厳しい天気予報が続いていますので、穏やかに日常生活を送れることを祈るばかりです。新型コロナウイルス感染症については、一時期よりは落ち着いた感がありますが、教職員や児童生徒の陽性、あるいは濃厚接触に関する報告が続いており、複数の学校で学級閉鎖や学年閉鎖の措置をしております。小・中学校は、明日から実質冬休み期間に入りますが、引き続き、緊張感をもって対応してまいります。

それでは、資料の1ページを御覧ください。

最初に学校教育関係です。小・中学校は、12月26日月曜日から1月13日金曜日までが冬季休業となります。今年は、曜日の関係で、実質、明日12月24日土曜日から1月15日日曜日までの例年よりも長い休みとなります。また、教職員の業務改善のために、冬休み中、年末年始休みに加えて、平日3日間の閉庁日を設けるよう県教委から要請を受けておりますので、本市では12月27、28日、1月4日を学校閉庁日としております。昨年度までは、高校入試の前期選抜があった関係で、中学校は年末年始ゆっくりできませんでしたが、今年度から前期選抜がなくなりましたので、県教委の要請に沿った対応をすることとしました。学校訪問は、コロナで延期となった2校で実施しております。これで30校全ての訪問が終わりました。委員の皆様への御協力に感謝申し上げます。特色ある教育活動について、秋田県学習状況調査が11月30日、12月1日に行われ、本市の小中学校も、全ての学校で実施しております。結果は、1月末以降にまとまる予定です。マーチングバンドの全国大会に3校が出場し、銀賞を受賞しております。大仙ふるさと博士、グローバルジュニア、読書通帳の表彰を行っております。ふるさと博士とグローバルジュニアは100ポイント、読書通帳は1,000冊を達成した児童生徒は、老松市長より直接表彰されております。ふるさと博士育成事業の冬バージョンの企業体験、農業体験がこの後実施の予定です。

研修面では、大仙仙北地区租税教育推進協議会会長として神代小学校で行われた租税教育に関する研修会に参加しております。

県外からの視察は、福島市教職員県外視察研修として教員5名が内小友小学校、大曲西中学校を訪問しております。

部局等との連携行事については、児童生徒が利用する市内3つのスキー場開

きに教育委員会からも参加します。新型コロナウイルスの影響については、記載の学校で学級閉鎖等の措置をしております。

その他、市議会の一般質問がありました。教育委員会関係の答弁については、別紙資料ナンバー1を参照ください。

以上で私からの報告を終わります。

次に、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきます。

まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

資料の2ページを御覧ください。教育総務課は、2項目、定例的なものとなっております。以上です。

伊藤教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課は、11項目記載しております。

5番の「大仙ふるさと名誉博士」等につきましても、49人が表彰を受けました。内訳ですが、ふるさと名誉博士の100ポイント獲得した児童生徒40人、外国人等とお話したことによるグローバルジュニアマイスター100ポイントが8人、読書通帳1000冊が1人となっております。この後、ふるさと博士の冬の特別企画では工藤委員にもお世話になります。

続いて、7番の「教育委員会訪問」ですが、教育委員の皆様、公民館長の皆様、御同行していただきまして本当にありがとうございました。タブレット端末とICT機器を活用した授業や、児童生徒が考えを表現しようとする授業が多く散見されました。

6番、10番は、教職員の研修であります。AIドリルの使い方の研修や、夏休みに引き続きましてプログラミングの研修を行う予定であります。

教育指導課は、以上です。

伊藤教育長

次に、施設管理課主幹、お願いします。

施設管理課主幹

施設管理課からは工事関係についてです。太田文化プラザ内部改修工事が完成しました。太田文化プラザは、令和元年度から順次改修工事を進めてまいりましたが、これをもちまして予定しておりました一連の工事が完了したことになります。施設管理課は、以上です。

伊藤教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターは、記載の2項目のとおりとなっております。以上であります。

伊藤教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課です。12月中は、記載の3項目の会議が開催されております。

それ以外に大きな行事・イベント等はございませんでした。生涯学習課からは以上でございます。

伊藤教育長

次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館では、2項目掲載しております。

2項目目の「クリスマスおはなし会」ですが、コロナ感染症への対策をとりながら、いつもより15分間時間を延長したクリスマスのおはなし会に11人から参加していただき、楽しい時間を過ごしていただいております。総合図書館からは以上です。

伊藤教育長

次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

総合市民会館は、2項目記載しております。

2番、宝くじ助成による「藤巻亮太 Acoustic Live Tour」コンサートは、無事に終了しております。以上でございます。

伊藤教育長

次に、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長

3ページを御覧願います。

花館公民館は、5項目記載しております。

12月13日に「川を渡るぼんでん」の三町会議を開催いたしまして、来年2月11日に、3年ぶりとなります川を渡ってのぼんでん行事を開催することになりました。今年の奉納本数は、13本を予定しております。花館公民館は、以上です。

伊藤教育長

次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長

神岡中央公民館は3項目記載しておりますが、2の「おもしろ講座」について説明いたします。

12月14日に通算344回目の講座を開催し、25名の参加がありました。

講師は、元秋田県埋蔵文化財センター所長の小林克さんで、北海道・北東北の縄文遺跡群が昨年7月27日に世界文化遺産に登録されたことの意義について、様々な角度・切り口からお話いただきました。

今回世界文化遺産に登録された遺跡群は、ともすれば文化的発展が遅れていたためと推測されがちであった北海道・北東北における縄文時代の文化的空白の多くを埋めるものであり、これを機に将来子供たちが手に取る歴史の教科書が書き換えられるのであれば、今回の世界遺産登録はとてつもなく大きな歴史的意義を持つとのことでした。神岡中央公民館の報告は以上です。

伊藤教育長

次に、大綱交流館長、お願いします。

大綱交流館長

大綱交流館は、3項目記載しております。

1番の「刈和野大綱引保存会役員会」において、新聞等にも掲載されておりますが、3年ぶりに綱引きを開催することとなりました。コロナにより2年間行事が中止となっておりますが、県内の行事が復活したことやワクチン接種が進んでいること、また、伝統を継承していくためにも実施したいとのことから、全会一致で開催を決めたものであります。大綱交流館からは以上です。

伊藤教育長

次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長

中仙公民館は、6項目記載しております。

1番の「第1回芸文中仙編集会議」ですが、12月5日、ドンパルで開催しております。「芸文中仙」は、大仙市芸術文化協会中仙支部が年1回発行している

機関誌で、この後3月の発行に向けて編集作業を進めていくことになっております。中仙公民館からは以上です。

伊藤教育長

次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長

協和公民館では、10項記載してございます。

2項の「新型コロナワクチン接種」が12月25日で終了いたしますので、1月の中旬から通常の利用が可能になるということでお話を伺っております。以上です。

伊藤教育長

次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長

南外公民館では、4項目挙げさせていただきました。

2番目の「南外小学生のそば打ち体験」は、12月7日に南外小学校の5年生を対象に、地域ボランティアの指導での実施を計画しておりましたが、対象児童に体調不良者が多数いたため1月以降に延期とし、現在日程を調整中です。

4番の「南外地域女性の集い実行委員会」については、2月に開催している「南外地域女性の集い」について12月9日に実行委員会を開催し、参加者の多くが高齢であることなどから、コロナウイルス感染拡大防止のため中止を決定しております。来年度は、開催時期を、感染症が発生しにくく高齢者が参加しやすい暖かい時期に変更することを検討しております。以上です。

伊藤教育長

次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長

仙北公民館は、4項目挙げております。

1番目の「仙北地域園小中連携協議会」では、今年行った事業を踏まえまして、来年度に向けてどのように展開していったらいいのか、という方向性を確認し合ったところです。以上です。

伊藤教育長

最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長

太田公民からは、5項目掲載しております。

5番、「太田地域コミュニティスクール（CS）連携協議会研修会」が、来週26日に太田文化プラザで行われます。太田地域では、太田中学校に1つ、3つの小学校にそれぞれCSが組織されております。4校のCSの代表、校長、推進員、更に行政からは支所長、公民館長、認定こども園や地元の高校の太田分校さんをメンバーとする本協議会を立ち上げ、太田地域全体の教育活動の充実を図っております。

今回の研修では、県生涯学習センターさんの協力により、「熟議」という話し合いの手法で、活動の共通理解やコミュニティスクールの役割などについて理解を深めることを目的に、研修会を行う予定となっております。太田公民館からは以上です。

伊藤教育長

各公民館等、ありがとうございました。

コロナの影響はまだあるようですが、冬の大きな伝統行事が復活ということで、大変うれしく思います。

以上、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

工藤委員

太田公民館の説明にもありましたが、コミュニティスクールの現状について教えてください。

伊藤教育長

では、コミュニティスクールの進捗状況と現状について、教育研究所長から説明をお願いします。

教育研究所長

コミュニティスクールについてお話したいと思います。今年度は太田地域にモデル校を置き実践していただいているところで、先ほどのお話の中に4校合同の研修会で「熟議」という言葉がありました。コミュニティスクールでは「熟議」が非常に大切で、熟慮して議論するという意味の言葉です。太田の子供たちをどうするか、という話し合いを26日に行うところでもあります。

来年度以降のコミュニティスクールの設置についてですが、来年度は西仙北小中学校と協和小中学校にコミュニティスクールの設置を予定しております。両地域の学校とも1小1中であり、非常にコミュニケーションがとりやすいこと、それから、地域とのつながりもしっかり築かれているということから、この

2地域において来年度コミュニティスクールを行う予定です。再来年度からは、また2地域ごとに実施していく予定ですが、準備が整った地域においては前倒しで実施することも検討しております。以上です。

工藤委員

コミュニティスクールの運営協議会は、各学校に1つずつ設置されるのでしょうか。

教育研究所長

各学校に1つずつの運営協議会を今の太田地域では設置しております。来年度の西仙北と協和地域では、2つの学校合わせて1つの協議会を作っていた方が効率的ではないかという提案をしているところです。

工藤委員

そちらの方がスマートかと思います。太田地域で4つのコミュニティスクールがあるということは、単純に支所長さんや公民館長さんなど関係する方たちが4つ持つことになるかと思いますので、大変なことだと思いました。

今回太田地域では60人出席予定ということですが、これがいわゆる4校の関係者の人数ということになるのでしょうか。

教育研究所長

正確には、太田地域から52人参加されまして、残りが来年度の西仙北地域、協和地域の学校関係者、西仙北高校の校長先生、県職員の方となっておりますので、60人を超える可能性もあります。

工藤委員

ありがとうございます。いずれにせよ、現在太田地域では4つの運営協議会に1つの連絡協議会を設けて進めているとのことですが、順調に進んでいるという理解でよろしいでしょうか。

教育研究所長

アンケート等で課題なども出していますが、今のところはおおむね順調に進んでいると捉えております。

伊藤教育長

太田公民館長は、このことについて何か情報ありますか。進み具合などについて、いかがですか。

太田公民館長

太田地域では、コミュニティスクール実施以前から地域の方々が学校との連携を非常によく取ってくださっていますので、推進員の方を中心に学校と地域をつなげる活動がされております。以上です。

伊藤教育長

ありがとうございます。立ち上げの際にかなりの労力が必要かと考えています。まず来年は西仙北と協和の2地域で、2地域であれば教育委員会からも担当の者が出向きしっかりサポートできると思います。他の地域も一気に進めてはとの意見もありましたが、そうすると教育委員会の手が回らず学校や地域、公民館などの負担が相当増えるだろうとの予想から、地域を絞りながらじっくり取り掛かっていきたいと考えております。

ほかにはございませんでしょうか。

小笠原委員

今日の報告に直接は関係がないかもしれませんが、新聞報道で南外公民館さんが表彰されたという記事を読んだのですが、どのような実績だったのでしょうか。

南外公民館長

実績と言えるほどのものか自問自答しておりますが、今回事例として挙げさせていただいたのは、南外地域は太田地域に次いで大仙市で2番目に蕎麦の作付けが多いのですが、地域のボランティアが子供たちに学校の中で中学生が蕎麦を植えて自分たちで打ってみる、あるいは料理教室で新規の人たちも親子で蕎麦打ちをしてみるなど、地域の中でいろいろな体験をしているというもので、それらのことについて評価していただきました。

伊藤教育長

公民館としてしっかりとした活動ができていることが評価されたのだと思います。表彰自体は2月だそうですので、2月の報告に載せたいと思います。

ほかに、ございませんでしょうか。

工藤委員

花館公民館長さんと大綱交流館長さんに伺いますが、「川を渡るぼんでん」と「刈野の大綱引き」が3年ぶりに実施されるということで、子供たちの関わりについてはどのようにお考えでしょうか。

伊藤教育長

まず、花館公民館長は、子供たちの関わりの方の予定など、どうでしょうか。

花館公民館長

子供たちの関わりにつきましては、毎年子供たちはペットボトルで「ミニぼんでん」を作成しております。1月末まで作成したものを、今のところ市役所と駅とはなび・アムに展示する予定であります。その後は、子供たちへの伝承ということで、小学校と保育園へ披露にまいりますし、2月11日当日は、作成した全学年のミニぼんでんを船着き場に全て飾る予定としております。小学校とは連携して活動しております。以上です。

伊藤教育長

例年どおりに行われるということでしょうか。

花館公民館長

ミニぼんでんは、毎年作成していただき展示してはりましたが、今回は会場の方にも展示する形をとらせていただきます。

伊藤教育長

ありがとうございます。

大綱交流館長は、いかがですか。

大綱交流館長

西仙北地域の、こども園、保育園の子供たちは「グミ編み」体験をしたり、中高生は「綱よい」といった、綱を伸ばしてより合わせる作業に来ていただいたりします。当日になると、中高生は「綱伸ばし」といった作業にも携わってもらっております。

そのほかには「綱よい講話」といって、授業の一部として保存会の会長が説明をするというものがあります。3年ぶりとは言いながら、例年このような事業を開催しております。

伊藤教育長

こちら感染予防しながら通常どおりということですか。

よろしいでしょうか。

工藤委員

ありがとうございます。

伊藤教育長

ほかには、よろしいですか。

各委員（なし）

伊藤教育長

それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。

次に、付議案件に入ります。

議案第39号「大仙市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について」を議題といたします。教育指導課長から説明をお願いします。

教育指導課長

それでは、議案第39号、大仙市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について御説明申し上げます。

本規則は、小中学校の管理の基本事項について定めたものでありますが、本案は、小中学校の春季休業の期間を改めるために、所要の一部改正を行うものであります。資料のナンバー2、「新旧対照表」を御覧ください。

改正内容について御説明申し上げます。現在、本市の小中学校の春季休業日については、第3条第1項第3号に「4月1日から4月4日まで及び3月22日から3月31日まで」と規定しておりますが、4月の部分を「4月5日までの期間中、土曜日及び日曜日を除く最初の3日間並びに」とするものです。

次に、改正理由についてですが、学校における新年度は、定期人事異動による新たな職員構成で4月1日から始まり、始業式までの間に職員会議における校長の経営方針の共通理解、学年部の共通実践のための協議、始業式、入学式の準備、下足棚やロッカー、教室経営の準備等、新年度のための準備をします。これまでは4月4日までとしていたために、4月1日から4日までに土曜日、日曜日を含んでいた年は、始業式まで2日間しか取れず、休日も自主的に出勤しながら新年度の準備をしなければ間に合わない場合がありました。この状況は、国や県で推進している教職員の働き方改革の視点からも良いとは言えません。

また、近年、県の教職員の年齢構成により新任管理職が増えたり、初任者が増えたりしています。例年、新任管理職や初任者は秋田市等で辞令交付式がありますので、新任校長の学校は職員会議を初日に行うことが困難な場合もありました。

こうしたことから、春季休業日の終了日を「4月5日までの期間中、土曜日及び日曜日を除く最初の3日間」とすることにより、新年度準備の期間を確実に3日間保障して、子供たちを迎える準備を整えるものです。

したがって、4月の春休み最終日は曜日に左右されますので、4月3日、4日、5日までと3つの場合が想定されます。どの日を最終日にしても、曜日の巡りから授業日数にほとんど変化がないことから授業時数は確保され、影響はないものと考えております。

先般、市校長会において本案を示したところ、学校行事等に大きな支障は無く、

早い段階で保護者に示しておけば保護者からの理解も得られるとの回答をいただいております。

施行期日は、令和5年4月1日からとしております。

以上御説明申し上げましたが、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

伊藤教育長

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

各委員（なし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。本案は原案のとおり改正することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

それでは、異議なしと認め、本案は原案のとおり改正することとします。

続いて、次第の5番、その他に入らせていただきます。

定例記者会見資料について、教育指導課長よりお願いします。

教育指導課長

それでは、資料ナンバー3を御覧ください。

大仙市中学生議会を所管するのは議会事務局ですが、教育指導課でも大きく関わっていることからお話させていただきます。

中学生議会は、3年に一度行われており、今回で4回目の開催となります。未来を担う中学生が議長や議員となって、まちづくりや教育行政など、生徒の身近なテーマについて一般質問形式で質問・提案を行い、市政及び市議会への興味・関心を深めると共に、その体験を実際の学校生活や地域の行事等で役立てていくことにより、総合的な学力の育成を図ることを目的としております。全ての中学校から生徒が2人ずつ参加する予定です。

また今回、大仙市中学生議会終了後、市議会議員と参加中学生との懇談も予定されています。代表議員が生徒に議会について説明する機会をくださるとともに、生徒が議会や議員について普段思っていることを率直に質問し、議員さんに回答していただくことを想定しております。

この後、教育委員の皆様にも大仙市中学生議会の案内文書を送付いたしますので、時間が許しましたら御参会いただき、御指導願います。以上です。

伊藤教育長

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

各委員（なし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。

では、その他について、この機会に委員の皆様から何かございませんでしょうか。

伊藤委員

タブレットの使用についてですが、以前に初期化されてしまうという事例があったと思いますが、娘に聞いても10月頃にそういう現象があったとのことでしたので、その後改善されたかどうか教えてください。

教育研究所長

タブレットが初期化される現象について、最近そうした報告はございませんので、現在は改善されていると捉えております。

伊藤教育長

Windowsは順次アップデートしているのですよね。

教育研究所長

アップデートは、逐一しておる状況です。

伊藤教育長

その段階で解決されていてっていると担当からは聞いております。

ほかにございませんでしょうか。

工藤委員

給食において「残食調査」というものがあると聞きますが、こういった趣旨のものなのかお聞かせ願えますか。

学校給食総合センター所長

各給食センターでは、残食数として重量、キロ数を計り、1か月に1度程度記録しております。そのほかは、県から年2回ほど期間を定めて調査書がきて、残食数の調査ということで栄養教諭が対応しているものもございます。

工藤委員

「残食調査」の目的を教えてください。

学校給食総合センター所長

メニューによって子供たちが良く食べたり食べなかったりすることを調査しているのかと思います。食品ロスのことも含め、いろんなことを調査しているのかと思いますので、後ほど御報告したいと思います。

工藤委員

好き嫌いを把握したいところもあるんですね。それ以外のこともあるかも知れませんが。

やはり、メニューによって違うものなのでしょうか。

学校給食総合センター所長

子供たちの年齢によって栄養面での摂食基準があるのですが、それに基づいて摂食できているか、やはり栄養教諭が観察していると食の細かい子どももいるようですので、給食の実態を調べて献立の参考としております。

工藤委員

ありがとうございます。突然、すみませんでした。

伊藤教育長

食品ロスの問題や、いわゆる「もったいない」というのがそもそものスタートかと理解しております。併せて、循環型社会というようなことも出てきております。給食センターとしても、和食や郷土食などのいろんなメニューを工夫しながら、食育の意味も兼ねながら給食を提供しているところです。

ほかにはいかがでしょうか。

小笠原委員

魁新報の囲み記事を読み、四ツ屋地区でいじめ根絶を願って看板を立てたことで、一般論としてのいじめのない社会のイメージであれば良いことだと思ったのですが、もしかしたら個別の事案等を踏まえ、そういう思いをもって掲げられたとすればと、少々心配になったところでした。

伊藤教育長

これについて、何か情報はありますか。

教育指導課長

特にどこかの地区でいじめがあったという報告はいただいておりません。

ちょっとしたことがあって学校内で解決することはありますが、どういう理由でそのような経緯になっているかは、申し訳ありませんが分かっておりません。

伊藤教育長

教育委員会の方に報告はありませんでしたし、記事を読んだ上では、やさしい地域を作りましょうというメッセージと受け取りました。ただ一方で、コロナの誹謗中傷的な例があったときに、シトラスリボンでしたか、中学生が生徒会で、差別や誹謗中傷はないようにしましょうのような運動をいろんな学校でしていますので、そういう地域や社会を作ろうというような風潮は子供たちにもあるのかと捉えております。

ほかにはいかがでしょうか。

各委員（なし）

伊藤教育長

よろしいですか。

それでは、教育総務課長から、今回の日程等についてお願いします。

教育総務課長

次回定例会についてですが、来年1月27日金曜日午後3時30分から、ここ大会議室で開催したいと考えております。

それからもう一つです。市長が主宰し、毎年1回開催している総合教育会議のお知らせとお願いになります。開催期日は、来年2月3日午後3時30分から、ここ大会議室で行いますので、スケジュール調整をお願いします。詳細については、次回定例会で打合せしたいと考えております。どうかよろしく願いいたします。

伊藤教育長

次回定例会は1月27日金曜日午後3時30分からここで、併せて総合教育会議は来年2月3日金曜日午後3時30分からここでということの提案です。よろしいでしょうか。

各委員（異議なし）

伊藤教育長

ありがとうございました。では、そのように開催いたします。

本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じます。

ありがとうございました。お疲れ様でした。